



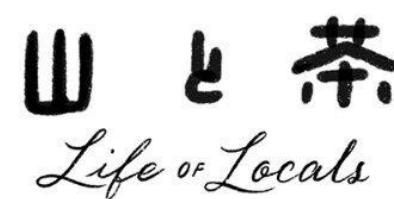
中谷 明史 Nakatani Akihito

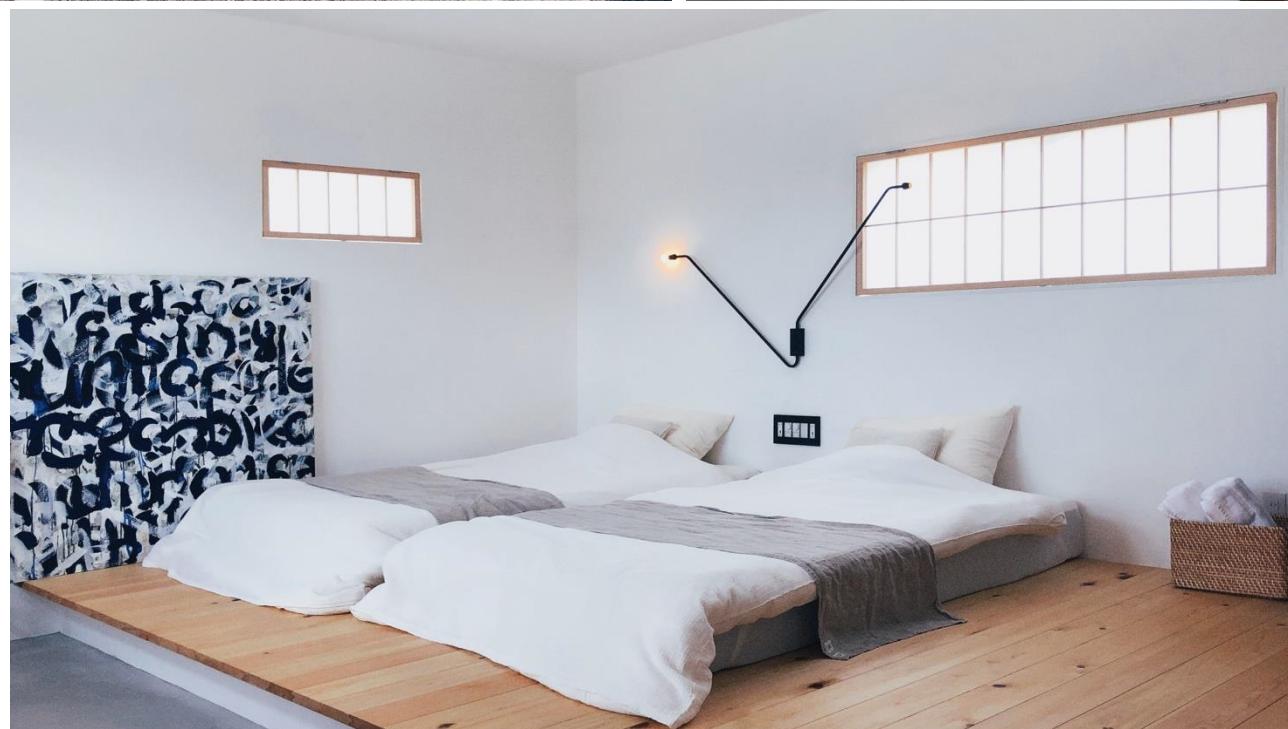
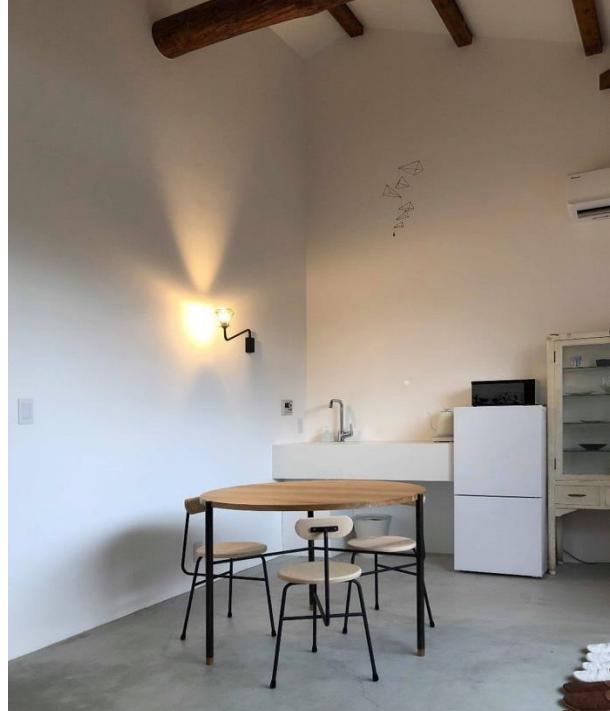
1990～ 浜松市出身

2012～ 東京R不動産

2015～ Uターン 天竜へ

二俣地域を拠点に活動





152 INN





TENRYU
TRIALOFFICE



Tenryu
Trial office

CONCEPT

ABOUT US

NEWS

LINK



直近五年間で10店舗以上の新規出店

地域にかがやく わがまち商店街表彰2024受賞のお知らせ

① 2024.07.26



区全体を見渡してみると…

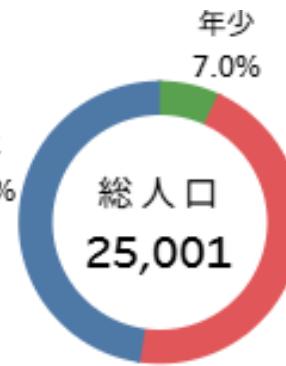
★人口構成

※2024年10月1日時点

■年少人口(15歳未満)

■生産年齢人口(15~64歳)

■老年人口(65歳以上)



世帯数

11,808

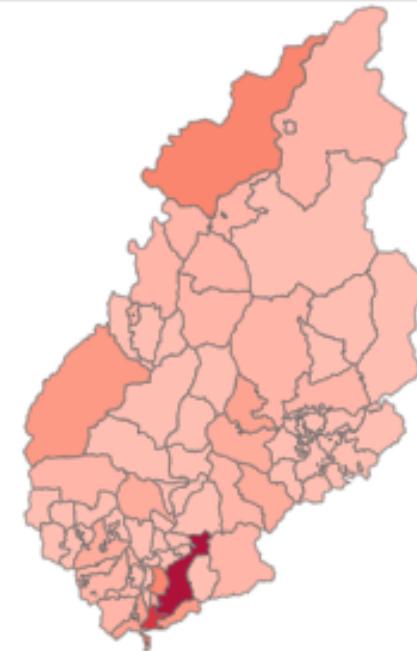
平均世帯人員

2.1人

※下のヒートマップの町字をクリックすると該当の町字のみのデータを表示します。

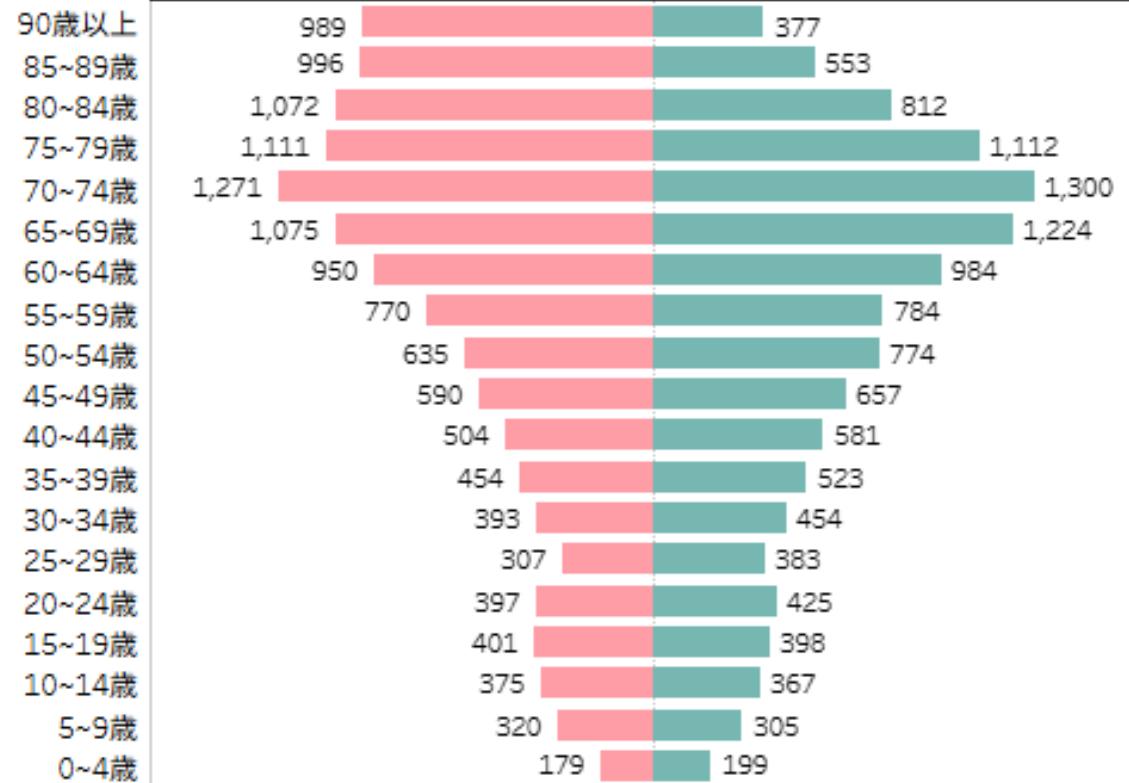
町字人口ヒートマップ

0 3,994



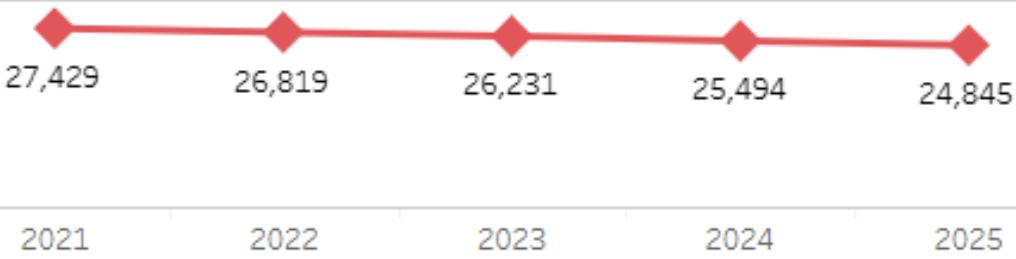
女性人口：12,789

男性人口：12,212



★過去5年の人口推移

※各年1月1日時点



将来推計人口(上段)と5年ごとの増減率(下段)

単位 上段：人 下段：%

	2020年(R2)	2025年(R7)	2030年(R12)	2035年(R17)	2040年(R22)	2045年(R27)	2050年(R32)	増減率 (2020～2050)
浜松市全域	790,718	772,254	752,174	730,724	707,669	683,036	657,052	-
	-	-2.3%	-2.6%	-2.9%	-3.2%	-3.5%	-3.8%	-16.9%
旧天竜区	26,726	23,663	20,828	18,208	15,790	13,563	11,535	-
	-	-11.5%	-12.0%	-12.6%	-13.3%	-14.1%	-15.0%	-56.8%
旧北区	92,688	90,551	88,013	85,197	82,080	78,641	75,178	-
	-	-2.3%	-2.8%	-3.2%	-3.7%	-4.2%	-4.4%	-18.9%

※日本の地域別将来推計人口(2023(令和5)年12月推計)<国立社会保障・人口問題研究所>による

- ・高い高齢化率
- ・想定外のスピードでの少子化

→新たな産業と雇用の創出による人口構成の調整と少子化の鈍化を行わなければ、近い将来行政区としての体を成せなくなる可能性が高い。

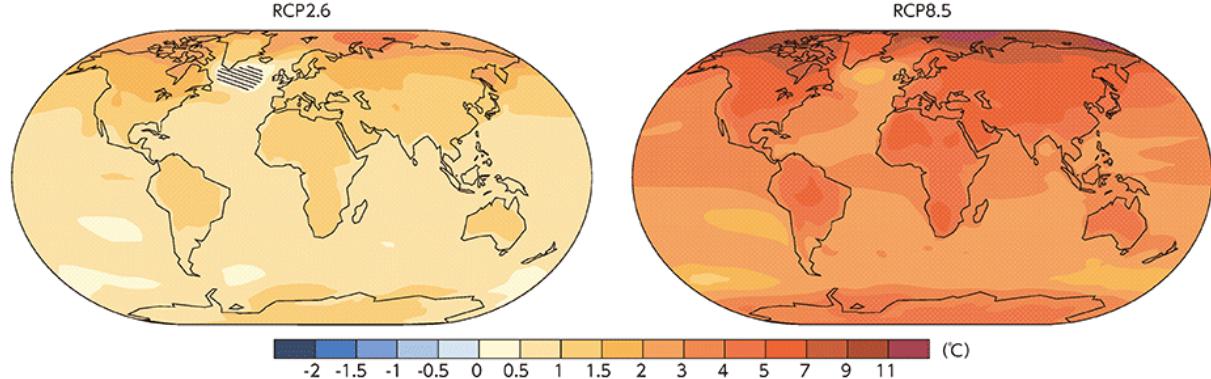
コロナ禍で顕在化された里山の可能性



Volatility

...変動性

図 1-1-3 平均地上気温変化分布の変化



注：1986～2005年平均と2081～2100年平均の差。

資料：気候変動に関する政府間パネル（IPCC）「第5次評価報告書統合報告書政策決定者要約」より環境省作成

Uncertainty

...不確実性

Complexity

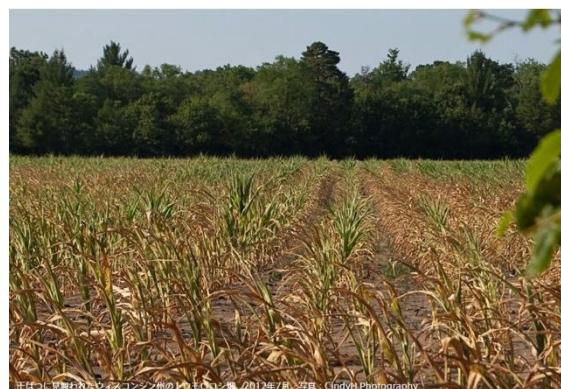
...複雑性

Ambiguity

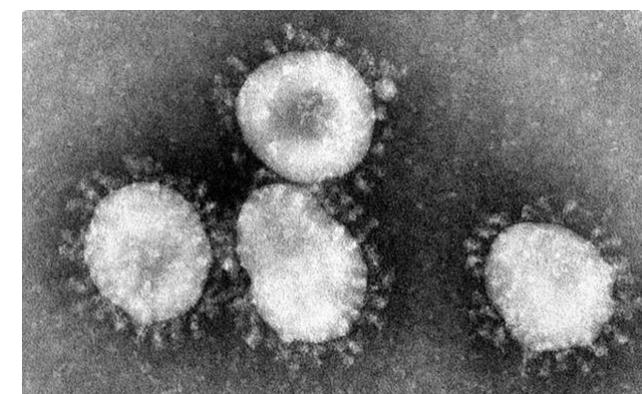
...曖昧性



資料：AFP=時事



千葉県印西市にて、2017年7月、写真：Unsplash



Centers for Disease Control and Prevention's Public Health Image Library (PHIL), with identification number #4814.



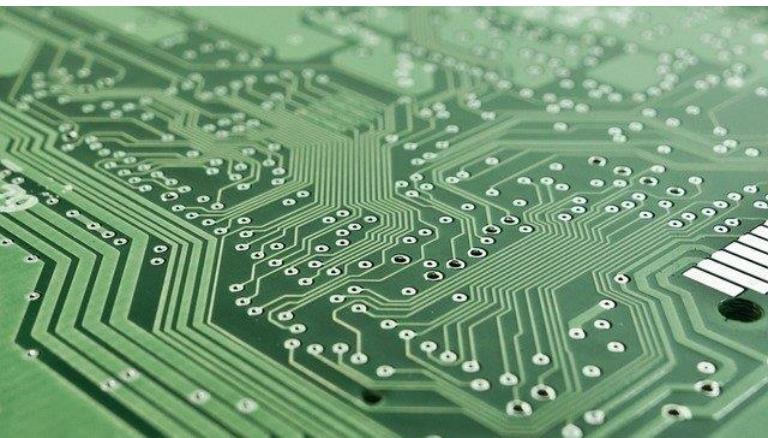
Photo: SOPA Images/gettyimages

Satoyama Landscap



+

Digital Technology



Wellness

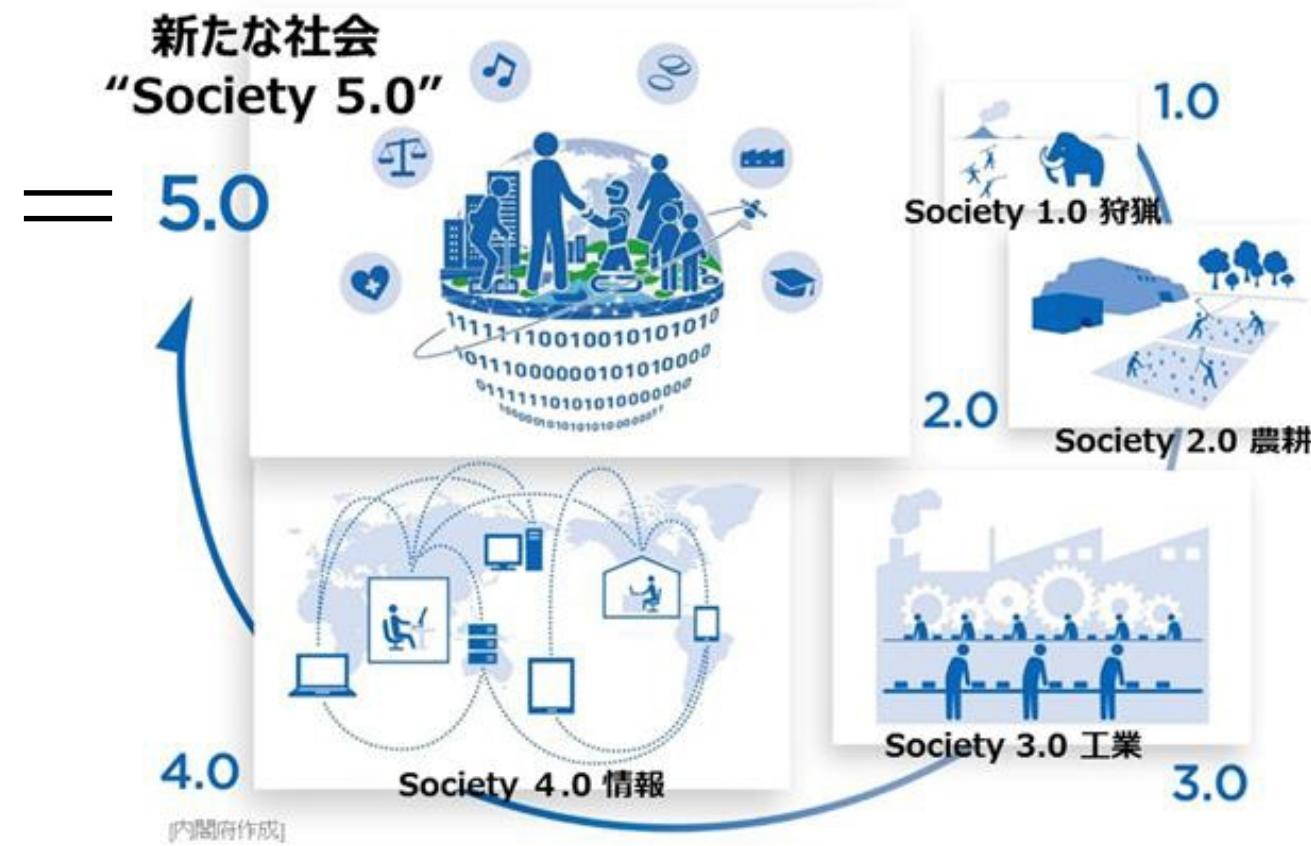
Off-Grid

Sustainability

MaaS

Web3.0

Metaverse





デジタルライフライン全国総合整備計画 「ドローン航路」の整備を進めるトラジェクトリーがその社会実装に向けた浜松市天竜川の実証実験で日本初となる垂直離着陸型固定翼ドローン（VTOL）のレベル3.5飛行を実施

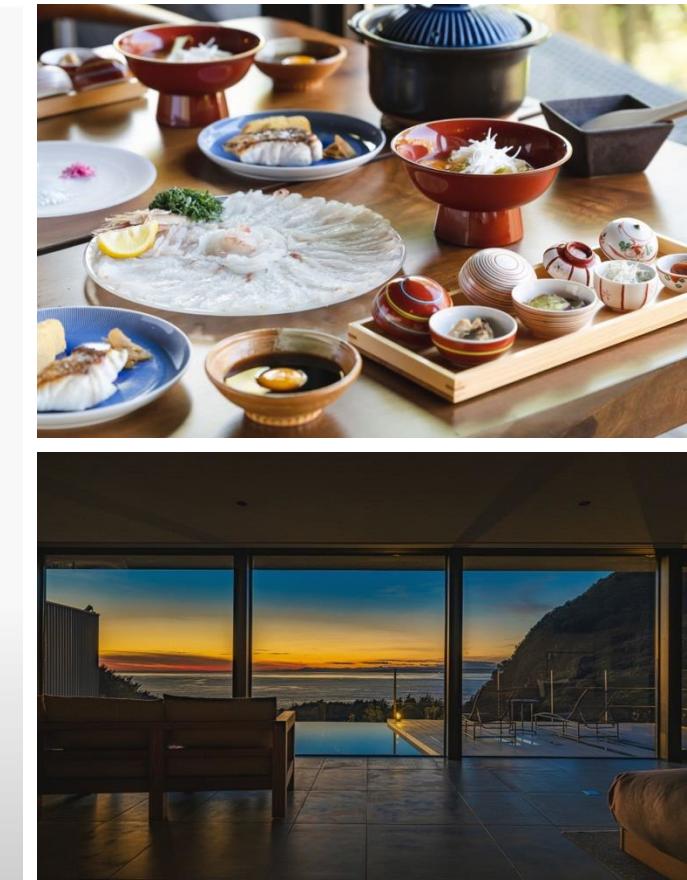
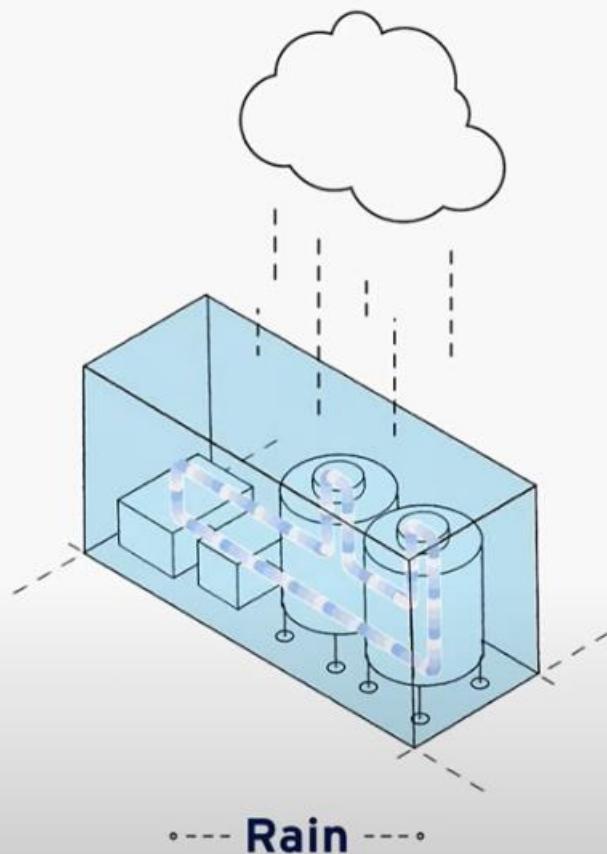
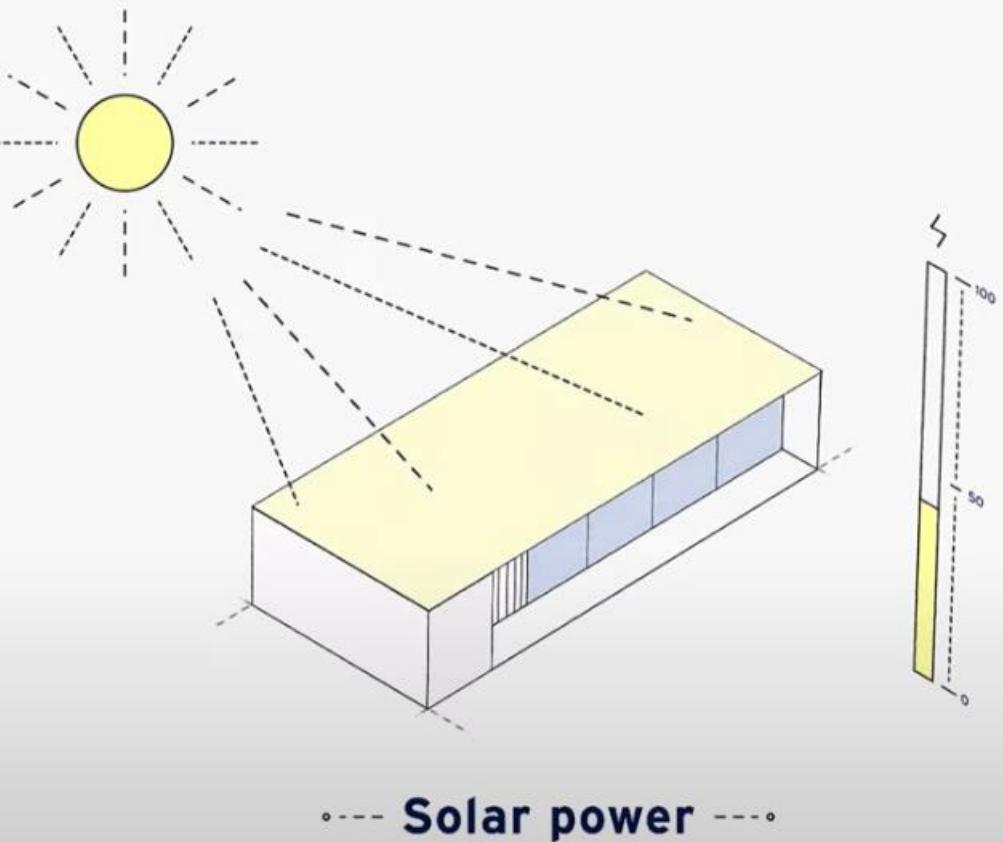


医療環境や物流環境の改善は住環境の更なる充実につながる

オフグリッドモジュールによるラグジュアリー宿泊施設の誕生



分散型のディスティネーションホテルなど、新たな観光産業への可能性



里山の持つポテンシャルに
テクノロジーを重ねることで
過疎地の新たな未来（需要が見えてくる